

ウルトラミュージカル

超歌劇『幕末Rock』黒船来航

京都公演開幕リリース！+東京公演ゲネプロ・囲み会見

拝啓 皆様におかれましては益々のご清祥のこととお慶び申し上げます

原作ゲーム『幕末Rock』は、2014年2月にリリースされるや大ヒットし、7月にはTVアニメが放送され、“幕末”という時代設定のもと、志士(ロッカー)たちが音楽で新しい時代を創る、斬新で魅力的なキャラクターにあふれた大人気コンテンツです。

舞台版の『幕末Rock』は2014年12月に、[超歌劇=ウルトラミュージカル]として、吉谷光太郎氏の脚本・演出で舞台化され、本格Rockの楽曲の数々と圧巻の雷舞(ライブ)演出を若手実力派俳優たちがミュージカルで表現し、全公演満席。立見もできる注目作となりました。原作ゲーム、アニメの世界観をそのままに、劇中の演出シーンの一部として、観客が実際にペンライトを振りながら公演を楽しむという観客参加型のライブ要素を取り入れた演出が大好評を頂きました。

そんな**超歌劇(ウルトラミュージカル)『幕末Rock』黒船来航**が8/20(土)より、京都劇場にて開幕しました！京都公演時の舞台写真とキャストコメントをニュースリリースとしてお送り致します。

また、**9/3(土)からは東京公演がはじまり、当日はゲネプロ取材と囲み会見を開催！**皆さまのご来場をお待ちしております。新キャラ！新曲！新ストーリー！の「新(NEW)」づくしの2016年夏の超歌劇『幕末Rock』にぜひご期待ください。 敬具



©2014 Marvelous Inc./幕末Rock製作委員会
©2014 Marvelous Inc./超歌劇『幕末Rock』製作委員会

STORY

太平洋——。他国へと繋がる大海の荒波を突き進む四隻の蒸気船があった。

「イツロケンロウ！ゴキゲンな荒波だ」

メリケンの使節の一人、ペリー・ジュニアが一人、船の船先に立ち逆巻く荒波を楽しげに眺めている。

黒船は浦賀の港へ突き進む。

これが後の世に黒船来航と呼ばれる出来事の始まりだった。

時は経ち、ロック修行の旅へと出ている坂本龍馬が、久しぶりに江戸の地へと訪れるとそこでお登勢と再会を果たす。お登勢とともに、高杉晋作、桂小五郎の住む老中・勝海舟の邸宅に向かう龍馬。

二人とも再会した龍馬のもとに、帰宅した勝海舟がこう告げる。

「雷舞(ライブ)でペリー・ジュニアに勝ってほしい」と。

龍馬たちは 超魂(ウルトラソウル)の誇りを胸に戦いを決意する。

雷舞(ライブ)当日、新選組の土方歳三、沖田総司とも再会を果たした龍馬たちは、

超魂團(ウルトラソウルズ)再集合を果たしジュニアに戦いを挑む。

だが、超魂團はジュニアの本場のロックに全く太刀打ちできなかった。

ジュニアの胸元にはなんと複数の 超魂が光り輝いていた…。

超歌劇(ウルトラミュージカル)『幕末Rock』黒船来航

■公演日程:【京都】 8月20日(土)~21日(日) 京都劇場

【東京】 9月3日(土)~9日(金) EX THEATER ROPPONGI

■キャスト:坂本龍馬 役:良知真次 高杉晋作 役:糸川耀士郎 桂小五郎 役:三津谷亮 土方歳三 役:輝馬

沖田総司 役:佐々木喜英/誠仮面 役:輝馬/お登勢 役:山岸拓生 勝海舟 役:岩崎大/

井伊直弼 役:吉岡佑 徳川慶喜 役:Kimeru/マシュー・カルプレイス・ペリー・ジュニア 役:兼崎健太郎

アンサンブル:山沖勇輝 山田諒 佐藤優次 仲田祥司 池田謙信 吉田邑樹 新開理雄 狩野新之介 市川耕大 竹井弘樹

◆原作:『幕末Rock』(マーベラス) ◆脚本・演出:吉谷光太郎

◆音楽制作:テレビ朝日ミュージック ◆振付:MAMORU ◆協力:ギブソン

■チケット:EVENTIFYにて好評発売中! 価格:一般 ¥7,200(税込)

チケット購入URL: https://www.funity.jp/um_bakumatsu/ 幕末Rockチケットサポート: support_brticket@eventify.co.jp

■公式サイト: <http://bakumatsu.marv.jp/stage/> ■公式ブログ: <http://www.marv.jp/message/bakumatsu.php>

■公式twitter: <https://twitter.com/bakumatsu69>

主催/マーベラス テレビ朝日ミュージック NBCユニバーサル・エンターテイメント NAS

©2014 Marvelous Inc./幕末Rock製作委員会 ©2014 Marvelous Inc./超歌劇『幕末Rock』製作委員会



東京公演ゲネプロ・囲み会見ご案内

9月3日(土) EX THEATER ROPPONGI

下記のキャストから、京都公演初日を終えての感想など、コメントを戴きました。

坂本龍馬役:良知真次 高杉晋作役:糸川耀士郎 桂小五郎役:三津谷亮
土方歳三役:輝馬 沖田総司役:佐々木喜英 マシュー・カルブレイス・ペリー・ジュニア役:兼崎健太郎

■初日公演を終えての感想

良知真次:ゲーム、アニメ、最終章としてミュージカルを上演し、初演、再演とやってきましたが、前作から一年たち続編として新作をようやくお客様に届ける事ができる喜びと期待と不安がありました。本番でペンライトを振って、一緒に歌って下さるお客さんを見て、この作品は普通のミュージカルと違う“超歌劇(ウルトラミュージカル)”なので、お客さんと体感して一緒に創り上げていく作品なんだと思いました。

糸川耀士郎:お客さんがペンライト振って下さるとい舞台が初めての経験でしたので、とても幸せを感じていました。セリフが飛んでしまうくらい、お客さんの勢いに圧倒されました。晋作の誕生日という事もあり、忘れられない一日となりました。

三津谷亮:(稽古、ゲネプロと比べて)お客さんが入って演じる事によって、見えなかった景色が見えてくるようになったし、見えていた景色が変わるのがとても新鮮でした。今日の公演はお客さんに引張ってもらった印象がありますが、この後の東京公演ではお客さんを引き込んでいくように頑張っていきたいです。

輝馬:超歌劇『幕末Rock』はお客さんの“熱量”も(自分たちに負けないくらい)すごくて、改めてお客さんと一緒につくる作品だなと思いました。また、自分の想定してなかったところでもお客さんの反応があり、とても新鮮に感じました。

佐々木喜英:初演、再演と観劇されたお客さんも新作を待ち望んで下さっていて、僕自身も「まだまだこういう事がやりたいな」と思っていた新作公演なので、1年ぶりに帰ってきてお客さんと、この「幕末Rock」の世界観を共有することができて、嬉しかったです。とても盛り上がりくれるので、その歓声に乗かって僕らも一つ上がった芝居ができて、本当に楽しい公演でした。

兼崎健太郎:初参加という事で不安もありましたが、舞台に出た瞬間に観客全員がペンライトを振っている光景に衝撃を受けました。お客さんの熱気やパワーががすごくて、いい感じに自分をのせてくれた公演だったので、楽しくなっちゃいました。

■自身の考える“みどころ”を教えてください

良知真次:超歌劇『幕末Rock』はアドリブ部分が多い作品なので、毎公演観ても楽しめると思います。1回と言わず、2回、3回と観に来て欲しいです。龍馬としては、前作では徳川慶喜との戦いでしたが、今回は一緒に歌ったり、日本にとどまらずペリー・ジュニアとセッションをるところなど観て欲しいです。

糸川耀士郎:新曲がたくさんあり以前からの曲と合わせて、使うポイントがどれも素晴らしいのですが、曲の順番も終盤に向けて僕らのボルテージが上がっていく感じが見どころかなと思います。

三津谷亮:(初参加なので)テンションが上がる楽曲が多くて、それを歌えるのが嬉しかったですし、楽しんでできました。脱衣(ページ)に向けてもカラダを造っていきますので楽しみにしてください(笑)。

輝馬:やはり、みなさんもすごく楽しみにしてくれているであろう(笑)、誠仮面のシーンだと思います。本当は土方なのですが、なぜ「誠仮面」が登場したのか、誠仮面が誕生するまでの心の動きが描かれているので、そこにも注目していただきたいです。

佐々木喜英:前作は近藤さん、土方さんの立ち回りが多く、沖田はどちらかと言えば守られている存在でした。今作は沖田が一人で黒船に潜入し、今度はみんなを守ろうと行動します。そこで黒船に潜入しての立ち回りに注目してください。ペリー・ジュニア率いる海兵たちとの立ち回りも見どころの一つです。

兼崎健太郎:演出(・脚本)の吉谷光太郎さんが「(この作品は)歌は歌ではなく、芝居があつての歌」と公演前に言って下さいました。いろいろなキャラクターの裏側が盛り込まれていて、芝居の流れによって感情が違うので、その中で歌う「歌」に注目してほしいです。「このキャラクターはどういう気持ちで歌っているのかな？」と観ても面白いと思います。

FAX REPLY SHEET

FAX返信先:03-5769-7442

メール送信先: sugiyama@marv.jp onom@marv.jp

マーベラス 杉山・小野 行き

超歌劇『幕末Rock』黒船来航 ゲネプロ申込み

【ゲネプロ概要】

■日時:9月3日(土) 囲み会見12:00~ ゲネプロ13:00~ (受付:11:30)

■会場:EX THEATER ROPPONGI(東京都港区西麻布1-2-9)

■囲み取材登壇者:坂本龍馬役:良知真次 高杉晋作役:糸川耀士郎 桂小五郎役:三津谷亮
土方歳三役:輝馬 沖田総司役:佐々木喜英 マシュー・カルブレイス・ペリー・ジュニア役:兼崎健太郎

■上演時間:休憩なし2時間半

【取材に関してのご注意とお願い】 ※弊社方針につき、WEB動画でのご取材はお断りさせていただきます

※開始時間・上演時間は変更になる場合もございますので、予めご了承下さい。

※座席は受付 先着順となります。当日は混雑が予想されますので、座席を指定させて頂く場合がございます。

※駐車場のご用意はございません。

※観劇中の撮影は可能ですが、ストロボを焚いての撮影、脚立を立てての撮影は禁止とさせていただきます。その他、公演中に支障をきたすと判断した場合、主催者の指示に従って行動させて頂けますようお願い申し上げます。

※座席に関しても演出家・オフィシャルカメラ等優先させていただきますので予めご了承下さい。

※オフィシャル素材の提供が必要な場合は、お手数ですが下記申込書にメールアドレスをご記載下さい。

※報道媒体・ニュース系WEB媒体を除く媒体は、事前に写真・原稿確認させていただきますので予めご了承下さい。

※今回の取材で撮影された動画・音声・写真を本舞台の報道目的以外に転用・転載・流用することは禁じさせていただきます。

■お手数ですがお越し頂ける場合は、必要事項をご記入の上
9月2日(金)18:00までに、メール・FAXにてご返信ください。

貴媒体名	OA/ご掲載予定日: 月 日		
	<input type="checkbox"/> TV	<input type="checkbox"/> 紙媒体	<input type="checkbox"/> WEB
	<input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> モバイル	
貴社名			
お名前			
御連絡先	TEL:	MAIL:	
撮影の有無 人数	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	合計 名
種類	<input type="checkbox"/> スチール	<input type="checkbox"/> デジカメ	<input type="checkbox"/> その他()
ゲネプロ 観劇の有無	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	

当日連絡先:マーベラス 杉山 (090-9802-9864)

会場:EX THEATER ROPPONGI

■住所・電話番号

〒106-0031 東京都港区西麻布1-2-9

■アクセス方法

日比谷線&大江戸線 六本木駅から徒歩5分

千代田線 乃木坂駅から徒歩8分

南北線 麻布十番駅から徒歩11分

都バス 渋谷⇄新橋 都01系統『EXシアター前』降りてすぐ

